

日本は中国とどう向き合うのか？



コロナ禍の経済安全保障

令和2年6月2日、参議院 財政金融委員会でありむらが質問に立ちました。

経済安全保障の視点から国民の生命や財産、日本の経済的繁栄、日本の主権と独立を守ることの重要性を訴え、戦略的に静かに進む中国の侵食に警鐘を鳴らしています。

通常、全国中継されることのない委員会審議ですが、新聞記事やYouTube、SNSの口コミによる広がり、多くの皆さまにご関心をお持ち頂いています。コロナであぶり出された「国家のありよう」について、有村の直球勝負24分の質疑です。

中国に世界秩序を牛耳られていいのか？

国連における中国の権益拡大、WHOは氷山の一角。
中国共産党に吸い取られる日米の先端技術。

- 圧倒的な資金
- ケタ違いの生産能力
- 群を抜く市場規模
- 軍事や経済優位のための先端機微技術

さえ押さえれば、世界の秩序や国際世論も欲しい
ままにできると、中国に思わせてはなりません。



令和2年6月3日 産経新聞

●外務副大臣、国連機関「公平性担保へ努力」

国連の専門機関で中国の影響力が拡大しているとの懸念をめぐり、鈴木馨祐外務副大臣は2日の参院財政金融委員会で「それぞれの機関の運営にしっかりと関与し、公正性を担保する努力をする」と強調した。質問した自民党の有村治子氏は、15ある専門機関のうち4機関のトップを中国が占めていることに触れ「約3分の1のトップを共産党一党支配の国が占めることが、世界にとって健全なことなのか」と提起した。

質疑はこちらでご視聴いただけます！



ありむら治子チャンネル



令和2年6月3日
読売新聞

文部科学省は2日の参院財政金融委員会、国内の大学に対する外国企業からの寄付や研究費の支援について、実態を把握していないことを明らかにした。国内の大学に対しては近年、中国などの外国企業が軍事転用可能な先端技術を得ようと、資金面で支援していると指摘されている。

●外国企業寄付 把握せず



参議院議員

比例代表（全国区）

ありむら治子





令和2年6月5日

阿比留瑠比の

極言御免



コロナ禍で見えた中国の正体

「今日は6月4日、私に力鎮庄した天安門事件から31年となる4日、ツイッタ

次のようなお気楽な論調が少なくないが、率直に言っ

「中国がウィルスを隠蔽したせいで感染が世界に拡大し、米国でも10万人以上が死亡した」

このほか、中国が①香港での反体制運動を取り締まる国家安全法の導入を決めたことは、「一国二制度を定めた」中英共同宣言に違反

「新冷戦」の様相 米国をはじめとする西側諸国がかつて価値観を共有しないソ連（現ロシア）と対峙したように、現在、米

晋三首相の記者会見」と米側に立つのは当然だろう。日本の政界は長年、「親中派だらけで、親米派はいない」（米軍高官）といわれ、日中友好至上主義にとられてきたが、最近はずがに変わってきた。

動させ、自由と民主を叫ぶ丸腰の学生たちに対する血の鎮庄を断行した。多くの純粋な青年が兇弾に斃れ、私たちの夢と理想は共産党の戦車によって押しつぶされた。中国近代史上、最も暗黒な日であった！」

「いまの『中国たたき』からは、冷戦期から米歴代政権が培ったはずの長期的戦略はうかがえない。11月に迫る大統領選挙へ向け、コロナ対応での自らの失策を覆い隠す思惑が透ける中国脅威論である」（2日付朝日新聞社説）

中国・武漢市政府は今年1月5日の時点でも、「人から人への感染は確認していない」などと虚偽の発表をしていた。こうした中国の情報隠しもあって、ベトナム戦争の死者（約5万8千人）の倍に迫る被害者が出た米国の憤りを、単なる選挙目当ての中国たたき

貿易を脅威にさらしている③長年にわたり多数の産業機密を盗むために違法なスパイ活動を行ってきたなど指摘した。

日本が「自由や民主主義や基本的人権、法の支配といった基本的価値を共有する同盟国として、米国と協力をしていかなるさまざまな国際的な課題に取り組んでいきたい」（5月25日、安倍

専制国家のまま

中国から日本に帰化した評論家の石平氏は、中国が民主化を求める学生らを武

この現実には、真正面から向き合おうとしているのが米国だといえる。トランプ

もうろん、トランプ大統領が選挙を意識している部分はあろうが、それよりも、もっと純然たる米国の怒りの表れだろう。トラ

香港では、毎年行われてきた天安門事件の犠牲者追

2日の参院財政金融委員会では、自民党の有村治子氏がこう問いかけていた。こうした当たり前の議論が、さらに活発化すること

（論説委員兼政治部編集委員）

